



山崎泰昌議員

漁港の外灯整備が不十分

早期整備を要望していく

問 漁港の外灯設備が足りない。特に船揚場・物揚場が不便である。もはや県と相談する時期ではない。町が早急に対応し、漁業者の安全を確保すべきでは。

佐藤町長 県営漁港も町営漁港も、災害復旧工事の進行に合わせて、順次設置を進めている。県営漁港の施設は県が復旧すべきものであるため、応急的な外灯設置と合わせ早期設置を要望していく。

問 町が船越魚市場前の道路の舗装を行ったことは、英断だったと評価しているが、県営漁港であっても県に要望するだけでなく、水産振興のために町が整備すべきでは。



漁港の外灯整備が望まれます（船越漁港）

甲斐谷水産商工課長 確かにそのとおりであるが、県営漁港は基本的に県が整備を行うため、今後も強く要望する。

町営漁港は電力等の課題があるが、対応を検討していきたい。

仮設住宅入居者への支援は

現体制で支援を継続したい

問 仮設住宅での生活が長期化するにあたり、新しい支援策が必要と考えるが、町の見解は。

佐藤町長 関係各課が連携し、現体制で支援を継続していきたい。

問 町は今までメンタルケアを重点的に行ってきたが、入居者は物理的なスペースを必要としている。新たな部屋の貸与や、物置等の貸与の考えは。

阿部建設課長 大人4人家族の世帯分離、みなし仮設住宅からの転居、結婚に伴う世帯分離該当者に優先的に部屋を貸与しており、対応は難しい。物置等の貸与については、今後検討していく。

問 構築物の破損や、道路

の劣化による破損が見受けられるが、対応は。

佐藤町長 県の対応により、一部の団地において、出入り口階段部分の床板の取り換えや修繕を行なっている。道路については、補修を行っている。

問 一部の住民は、仮設住宅は県が管理しており、対応に時間がかかる、町に話しても駄目だろうと考え、自主的に補修・修繕をしているが。

阿部建設課長 基本的に県が管理することとなっているが、現状では、道路の舗装を町が行っている。町に連絡をもらえれば、県の保守管理センターに連絡し、対応してもらおう。対応が遅ければ何度でも催促する。

その他の質問

◆住民の安全確保について

◆NPO問題について